

## 意見交換会実施報告書

令和5年 9月 8日

赤穂市議会議長 土遠 孝昌 様

総務文教委員会委員長 奥藤 隆裕

総務文教委員会は、下記により意見交換会を実施したので報告する。

### 記

開催日時	令和5年 8月18日(金) 19時00分 ~ 20時30分
開催場所	赤穂市役所2階 204・205会議室
意見交換会テーマ	赤穂市各中学校における部活動指導員による部活動の現状と課題について
出席委員	代表者：奥藤 隆裕 土遠 孝昌 司会者：井田 佐登司 釣 昭彦 記録者：荒木 友貴 南條 千鶴子
相手方団体名 及び参加者数	赤穂市各中学校 部活動指導員 5名
主な意見等	<p>1 活動の概要</p> <p>今回、意見交換を行った部活動指導員は、部活動の種目において地域などで優れた指導力を有する部活動外部指導者である。部活動の技術指導に留まらず、生徒の安全管理、保護者や学校との連絡・調整、試合への引率においても多大な協力をされている。現在、市内中学校に8名の指導員がおり、今後の部活動の地域移行においても重要な役割を果たされると期待されている。</p> <p>2 意見・要望他</p> <p>①指導員の活動時間が当初の400時間程度から徐々に制限され、現在は年間100時間あまりとなっている。市教育委員会が100時間上乗せの予算措置を行い、ようやく200時間程度となっている。日数にすると週2日程度しか指導できず、生徒の指導をするのにはとても足りない。</p>

②学校の教員である顧問の先生とは密に連携が取れているが、職員会議や別の生徒の面談などで教員も忙しく、部活動を見に来れない場合も多々ある。そのような場合は指導者を無人にする訳にもいかず、代わりに指導を引き受けざるを得ない。

③顧問と共に安全管理やハラスメント対策に心がけている。子どもたちが気持ちよく活動でき、個々の発育や発達に応じ褒めて伸ばすようにしている。子どもたちの特性を見極めようとすると、その分子どもたちに接する時間が必要になり、今の指定の活動時間では足りない。

④部活動指導員の委嘱期間が4月1日から2月28日となっており、3月は顧問の先生も異動でいなくなる場合もあり、監督を交代して対応したこともある。部活動の指導者に一カ月空白期間を生じさせないようにしてもらいたい。

⑤試合に行く際には保護者に車で乗せてもらうのが基本であったが、最近は土日に仕事がある保護者も増えている。試合が市内開催であればまだ良いが、競技種目によっては試合が遠方である場合もあり送迎が課題になっている。顧問や部活動指導員が引率した場合の、保険や引率にかかる交通費・ガソリン代の対応をお願いしたい。

⑥以前は試合の遠征の際には荷物も多いため、保護者負担でバスを借りる場合もあったが、今はバス代も高騰しており、スポーツ関連協会の補助が出ないと保護者負担が重くなってしまう。

⑦夏場は熱中症対策のため、10～20分というまめな単位で子どもたちの安全管理のケアが必要であり、指導者不在の時間を作らないように気を配っている。

⑧令和4年12月に部活動移行について先進地の講師を招き、市教育委員会の説明会があったが、未だに赤穂市としてどうしていきたいのか方向性が示されていない。指導員も学校の教職員も部活動の地域移行により受入れ体制がどうなるのか分かっていない状態である。

⑨部活動の地域移行に伴い、個々の保護者の費用負担や施設管理の責任・負担などがどうなるのか不明な部分が多い。例えば水泳であれば、プールの水質の管理（塩素濃度）は誰が責任を持つのか、薬品の費用は誰の負担なのかなどが明確になっていない。保護者・生徒に負担を求めるとなると非常に重い費用負担になってしまう。

	<p>⑩子どもたちの体力が年々落ちており、学校の体育の授業だけでは到底足りないと感じている。部活動の地域移行をするのであれば、全ての子どもたちが通えるように配慮してもらいたい。</p> <p>⑪競技種目により異なるが、部活動加入数が少ない学校では個人戦や団体戦の規定により出場に制限がかかる場合がある。県の中体連が登録基準を定めるが、部活動に入って試合に出られるのかも分かりやすく示していく必要がある。</p> <p>⑫部活動の地域移行と公務員の副業緩和により、部活動に意欲ある先生が指導に当たりやすくなる半面、兼職により負担が過剰にならないか配慮していただきたい。</p> <p>⑬以前は義士のふるさととして、忠臣蔵・義士を冠する大会が盛んだったが少子化の影響でスポーツをする子どもたちの人口自体が減ってきている。教育の一環として力を入れていかないと伝統が消えてしまうと危機感を感じている。</p> <p>⑭教職員が部活動の種目に対し全くの未経験である場合や、試合中の指示に専門性が必要などの理由で、指導員が主になって部活動の練習メニューを考えている部活動もある。</p> <p>以上、部活動指導員が各学校において教職員と連携して、子ども達の安全管理、体力向上に果たす役割を理解していただき、子どもたちが個々の特性に応じてスポーツを楽しみ、指導する側も安心して指導に専念できる環境を整えていただきたい。</p>
<p>委員会のコメント</p>	<p>部活動指導員の皆様は、ボランティア精神で生徒の技術向上と安全管理に尽力されている。そのご尽力に敬意を表する。</p> <p>しかし、指導時間数が現状では十分ではなく、指導員の負担が大きい。また、試合に参加するための交通費や送迎の問題もある。将来の方向性についても、より具体的な説明が必要だろう。</p> <p>いずれにしても、部活動は子どもたちの心身の健全な成長にとって重要である。</p>